おはなし散歩道

鬼とおむすび

八王子市　池田美絵

たび重なる浅川の氾濫によって、今年が無事に越せるかどうかも分からない。

村人はたいそう苦しんでいた。

裏高尾に住む長太も、山の奥まで薪を探しに行かなければならなかった。しかし、この山奥には鬼が住むという谷がある。

「あまり山奥へは行かないように」と母ちゃんから言われていた。

その日も、長太は、薪拾いに出かけたが、さっぱり薪が集まらなかった。薪を求めて知らず知らずの内に山の奥まで来ていた。

「さて、ここでお昼としよう」

長太は薪が大分集まって来たので、草の上に腰を下ろした。そして、おむすびの包みを取り出して食べ始めた。

「やっぱり、母さんのおにぎりはおいしいなあ」

大人に負けず働く長太のために母ちゃんは、大きなおにぎりを一つこしらえて持たせてくれた。それほど米は貴重品だった。

すると、森の奥から長太を見ている者があった。

「あの白いものは何だろう。うまそうだなあ」

そいつはおにぎりに興味を持って近づいてきた。

「ぎゃあ」

長太は驚いて飛び上がった。

「うまそうな物を食っているなぁ。おれにもよこせ」

そいつは鬼だった。だが、おにぎりはたった今、長太が食べてしまった。

身の丈は六尺、分厚い胸板にもじゃもじゃの髭、赤ら顔で角が生えていた。母ちゃんが言った通りだった。

「おにぎりはもうないんだよ」

と、長太が言うと鬼は、

「俺にくれないなら、お前を食べちゃうぞ」

と、言った。

「おい、あわてるなよ」

鬼は見るからに強そうな風貌だが、おにぎりが欲しいと指をくわえている様子は、どことなく愛嬌がある。長太にこんな考えが浮かんだ。

「お前さん、おにぎりが食べたければ、俺と一緒に村に来ないか」

「なんでだよ」

「このあいだの大水で南浅川の土手が壊れたんだ。それを直してくれたら、みんなもごちそうしてくれると思うよ」

「ほんとに、食わせてくれるのか」

鬼はたいそう喜ぶと、長太とともに山を下りた。

鬼を引き連れて村に戻った長太を見て、村人は腰を抜かした。しかし、長太の話を聞くと、村人はこころよく承諾した。それぐらい川の氾濫に、村人は心底疲れ果てていた。

それからの鬼の行動は素晴らしかった。持ち前の腕力で土手を補修すると、山から木を持ってきて橋を修理した。喜んだ村人は、少ない米をかき集めてご飯を炊いて、鬼に振る舞った。

翌年、村の作物は豊作になった。喜んだ村人は、たんまりとおにぎりをこしらえると、長太の案内で鬼の住む谷まで届けた。

「うまいな、うまいな」

鬼は大喜びだった。

「鬼さん、困った時はまた助けてね」

それからというもの、村人にとって鬼は怖い存在ではなくなったという。

（完）

（さし絵・小出　茂）

第百九回　高尾山信徒峰中修行会　十月十日(土)～十一日(日)

秋冷の高尾山へ一泊し当山独自の滝行をはじめ、月輪観・写仏・法話の聴講等を実践する精神修養の行事として【高尾山信徒峰中修行会】を来る十月十日～十一日に開催します。

高尾山に広がる大自然全体を修行道場として、高尾山御本尊・飯縄大権現様に身をまかせ、古来より伝承される修行の方法を実践し、激動の現代社会に生きるご自身の心の波を静めてみませんか？

老若男女を問わず初心者の方も歓迎致します。

参加ご希望の方は、ハガキに郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・生年月日・電話番号を明記してお送り下さい。（尚、小学生以下の参加は保護者の同伴が必要となります。）

皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

＊お電話にての申込はご遠慮下さい。

＊請書は、締め切り後、発送致します。

日程表

10月10日（土）
- 9:00 高尾山麓不動院 集合・受付
- 9:30 開会式
- 10:00 行程説明
- 11:00 昼食(各自持参弁当)
- 11:30 回峰行
- 12:30 両滝にて水行 琵琶滝：男性 蛇　滝：女性
- 14:30 両滝道場発足／仏舎利にて合流
- 15:30 薬王院到着
- 17:00 千巻経
- 18:00 夕食
- 18:30 風呂
- 20:00 月輪観
- 21:00 就寝

11日（日）
- 5:00 起床
- 5:30 朝勤・諸堂参拝
- 6:00 朝作務
- 7:00 朝食
- 8:00 写仏・法話 講師：牧宥恵師
- 12:00 昼食
- 13:00 下山
- 14:30 柴燈大護摩
- 15:30 閉会式

宛先　〒一九三―八六八六 八王子市高尾町二一七七 高尾山信徒峰中修行会係宛

電話　〇四二・六六一・一一一五

FAX　〇四二・六六四・一一九九

申し込み締め切り　九月十八日(金)

参加費　大人　一万五千円　子供　一万円(小学生以下)　＊保険料含

服装　運動着、運動靴(登山靴可)

持参品　弁当(初日昼食分)、雨具(カッパ、ポンチョ)、洗面用具、タオル、寝間着、リュックサック、筆記用具

＊お持ちの方は、念珠、錫杖をご持参下さい。

集合場所　高尾山麓不動院　午前九時集合

申込み後、キャンセルの方は、早めに電話連絡を入れて下さい。連絡なき場合は、キャンセル料等がかかる(発生する)場合がございますので、ご了承下さい。

高尾山内八十八大師巡拝のご案内

多くの方が参拝できますよう以下のように二つのグループに分け、途中（山上十一丁目茶屋前第十七番札所）で合流し、いっしょに巡拝いたします。

A、従来通り、不動院から歩く。

B、ケーブルを利用する。

※　ケーブルを利用する場合、代金は自己負担となります。

日時　十月十三日（火）

行程　山麓不動院→蛇滝コース→蛇滝→仏舎利塔法楽→本堂（御護摩修行）→坊入（昼食）→下山（一号路）→不動院着（法楽）→解散

参加費　五千円（昼食代、保険料含む）

集合場所　山麓不動院（八時半集合）

申込方法　ハガキに郵便番号、住所、氏名、生年月日、性別、電話番号を明記の上、左記までお申し込み下さい。

締め切り　九月三十日（水）

〒一九三―八六八六
八王子市高尾町二一七七
大本山高尾山薬王院　八十八大師係

＊電話でのお申し込みは承りかねますのでご了承下さい。

＊申し込み締め切り後、請け書（行程表・持ち物等）をお送り致します。